

2017年7月31日

阪神電気鉄道株式会社

尼崎の夏の風物詩「^{きふね}貴布禰神社夏季大祭 尼崎だんじり祭り」に合わせて
「出屋敷 ^{あか}きふね灯り道」を開催！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：秦雅夫）は、8月1日（火）・2日（水）の2日間、貴布禰神社で開催される「貴布禰神社夏季大祭 尼崎だんじり祭り」の応援イベントとして、8月2日（水）に出屋敷駅の商業施設「出屋敷アマトラ横丁」及び出屋敷駅東側鉄道高架下で、「出屋敷 ^{あか}きふね灯り道」を開催します。

これは、出屋敷駅から貴布禰神社までの道中の鉄道高架下をオリジナルのLED^{あんどん}行灯で明るく照らすイベントです。本イベントは、約300年続く「尼崎だんじり祭り」が名物の貴布禰神社とその^{かいわい}界隈の良さを、より多くの方々に知ってもらうとともに、賑わい作りを通じて地域の活性化を図ることを目的として行うもので、今年で5回目の開催となります。

本イベント当日は、一般の方々にオリジナル行灯を作成してもらう「みんなの灯り道づくり ワークショップ」のほか、「縁日コーナー」も設け、2日間で約8万人の参加者で賑わう尼崎の夏の風物詩「尼崎だんじり祭り」を更に盛り上げます。

当社では、今後も沿線の魅力向上と活性化につながる様々な施策に取り組んでまいります。

「出屋敷 ^{あか}きふね灯り道」の概要は、別紙のとおりです。

< 昨年の様子 >



「みんなの灯り道づくり ワークショップ」



「みんなの灯り道」LED 行灯

